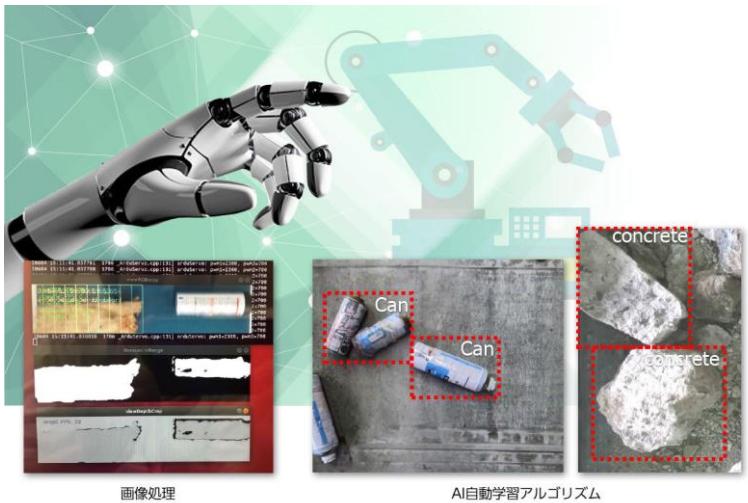
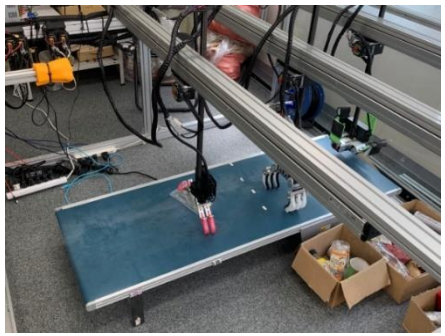
No.10

廃棄物処理・リサイクルの非接触化・自動化を実現する選別ロボットの開発と社会実装に向けたシナリオ構築

3.0 億円程度
（事業期間 3年間）

労働力不足が深刻化する廃棄物処理・リサイクル分野において、AIを活用した非接触化・自動化を実現する選別ロボットの開発を行う。プラスチック資源循環等の3R推進への貢献や新たな産業創出を目指す。





自動選別ロボット

- **排出現場で活用する選別ロボットの開発・導入**
- **ヒト共存型選別ロボットの開発・導入**

No.10

事業内容の詳細

○ 排出現場で活用する選別ロボットの開発・導入

- 紙や飲料容器（ビン・缶・ペットボトル）などのリサイクル率向上を目指し、商業施設などのバックヤードなどの排出現場で稼働する、安全性・可搬性・設置性に優れたロボットシステムを開発・導入する。

○ ヒト共存型選別ロボットの開発・導入

- 産業廃棄物の中間処理施設の選別ラインにおいて、混合廃棄物中の廃プラのリサイクル率を向上させるため、人の手選別を補完するシステムとして、塩化ビニルを検出する光学選別機能を付加したロボットシステムを開発・導入する。

事業実施による効果

- 従来以上のリサイクル率が期待でき、資源循環社会の実現に寄与。
- 廃棄物処理におけるコロナ禍に対応した自動化・非接触化、新たな産業創出に寄与。